

## 全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 7 月度理事会議事録

平成 21 年 7 月 15 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 41 クラブ (欠席 3 クラブ)

■吉本協会長については、欠席

- ・藤原副会長を議長として 19 時 5 分議事に入る。
- ・会議に先立ち、第 90 回全日本キス投げ釣り選手権大会の成績発表と表彰が行われた。

### 第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟 7 月度常任理事会報告 (池田副会長) (連盟議事録から転載)

日時:平成 21 年 7 月 8 日(水)15 時 45 分～18 時 23 分

場所:新大阪丸ビル新館 5 階 506 号会議室

#### ■議題 1

第 90 全日本キス投げ釣り選手権大会 PT 北九州協会

- ・大会 P T 責任者である金田協会長の大会総評と参加協会のご協力に対して謝意が表明された。続いて北野北九州常任理事より、成績、大会レポートなどの説明がなされた。入賞は本賞の部 325 位 (盾 98 位)・他魚の部 81 位 (同 24 位)。優勝は本賞、広島協会 大野サーフ 高木博之氏 (32.1 ㌦)・他魚は岡山協会 岡山近海サーフ 網井勝彦氏 (マダイ 76.9 ㌦・1.098 ポイント)であった。
- ・大会提出資料の中で、会員番号と氏名に食い違いが見られた。PT で気付いたところには連絡し、善処した。資料作成にあたってはクラブ段階から充分注意することが間違いを防ぐことになるので、次回から気をつけていただきたい。
- ・今大会からラッキー賞が新設されたが、審査票の中で検寸を受けているにも関わらず検寸なしのものとして区分けされていた。この場合成績表には未記載となるので会場責任者には注意してほしい。
- ・他魚の部の採点は長寸を S ランクで割るポイント方式でおこなった。小数点は第 3 位で切り捨てるとなっていたが、同ポイントの規定までは不明だった。したがって今回は匹数を対象とせず小数点 4 位まで計算した。今後同ポイントの場合、匹数の多い方を上位とするのか、それとも第 4 位まで計算するのか明確にしておく必要がある。
- ・採決の結果、今大会に限って同ポイントは匹数に関係なく同順位とすることにした。次回の全カレイから、取り決めの通り小数点第 3 位で切り捨て、同ポイントの場合は匹数の多い方を上位とする。また、匹数も同じ場合は同順位とする。
- ・上記に関連して本会で配布された成績表などに修正箇所が生じた。P T は作り直しを表明したが、本日出席理事は個々で修正するということで了承した。
- ・今大会において前日に釣りをおこなっていた参加者が居たことが該当クラブの申告で判明した。該当クラブの会長は所属協会長に今大会に参加していたクラブ全員の失格を自主判断。所属協会長もこれを了承した。本部としては当人のみ失格で良いと思ったが、クラブ、協会ともに結論を出しているのので、この判断を尊重する。
- ・今大会から、上位入賞者の中から、本賞 3 位と他魚 3 位までの方には副賞の釣具を本部予算内 (超過額は自己負担、減額は返却しない)であれば希望賞品を認めるとしていた。これについて前島鳥取協会長から、希望を認めることに異議を唱えられるとともに常任理事会の決議を得ていない旨の動議がだされた。
- ・改めて挙手による採決の結果、賛成多数で本人希望を認めることを承認した。

#### ■議題 2

第 32 回東西投げ釣り選抜 100 人の会 PT 本部協力北陸協会

- ・競技担当の三上北陸協会長より、大会は無事終了し、釣果も抜群であった。しかし競技進行に不手際が発生し、大変ご迷惑をお掛けした。今後は統一した競技マニュアルが必要と反省と終

了の報告があった。

- ・岩田連盟会長より、行事全体の不手際について気付いた点を明記した文書の提出があった。次回開催までには行事全般の進行などを審議し、規定作りをおこなう。

### ■議題 3

#### 第 41 回クラブ対抗キス投げ釣り選手権大会 PT 大阪協会

- ・池田大阪副協会会長より、今大会の参加は 89 チーム、258 名であったと報告がある。
- ・準備については全て完了しており、後は開催を待つのみである。また当日受付において各釣り場までのコース地図を配布し、要所に目印として全日本サーフの幟を立てるなど、極力解かり易く釣り場に行けるよう配慮するとの報告も併せてあった。

### ■議題 4

#### 平成 21 年度全日本キャストイング選手権大会 PT 香川協会

- ・松井協会会長より、大会要項案が配布された。前回と変更部分として競技規定に「発音体（ビーパー）等は全日本サーフ指定品を使用しなければならない」を追加した。
- ・発音体の部品であるスプリングのみ販売してほしいとの要望で、メーカーさんと交渉した。その結果要望を叶えることができた。価格は 1 個 40 円で、400 個以上の注文であれば送料は不要、以下の場合、注文者負担になる。
- ・スプリングの強度について若干弱いのではと意見が出た。対して菅原北海道協会会長は伸縮チューブに装着すれば、問題ないと意見があった。
- ・発音体の音がしないことで、競技進行が大きく妨げられる。参加に臨んで必ず新しい電池に交換しておくように P T の要望があった。
- ・S C 部長より、北海道オープンスポーツキャストイング大会参加の要項が配布された。参加希望の会員は要項の中にある申し込み先に申し込んでください。但し、参加名簿は写しで結構ですから、本部 S C 部にも提出してください。
- ・全日本キャストイング選手権大会の要項案は採決の結果正式に承認された。

### ■議題 5

#### 第 91 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 PT 山口協会

- ・宗貞協会会長より、大会会場の一覧表（案）が配布された。今大会の会場申請は全国 47 箇所であり、申請の無かった会場は小名浜、長島、大三島、鳥羽、香住、九十九島、牛窓の 7 会場であると報告された。
- ・一覧表については、本会で記載事項の点検などをおこなっていただき、修正作業などを経て 7 月 17 日付けで協会会長さんまで発送する。また、記載事項の変更可能時期について質問があり、同月 15 日までなら対応すると回答があった。

### ■議題 6 その他

#### ●SC 協会対抗戦収支報告

- ・蔦広島協会会長より、S C 協会対抗戦の収支報告書が配布された。報告書にある余剰金については既に本部会計まで納付してある。また後日の訂正を避ける意味で、監査役による事前監査を受けていることも報告された。
- ・広島で開催している S C 会場整備費用について、今までは草刈機を持っていた会員に頼っていたが、該当会員の退会などもあり、困難となっている。そこで草刈に掛かる費用などを連盟で負担していただけないかと要望がだされた。
- ・この件に対して岩田連盟会長は事前に見積書を提出してほしい。それにより善処すると回答した。
- ・S C 協会対抗戦の収支報告については承認された。

#### ●全日本サーフ 45 周年記念誌 渡辺記念誌編集長代理

- ・編集メンバーは連盟会長、事務局長、野村会計、松井 S C、としだ大物、谷後事故防止、帷企画、渡部広報、伊達編集、渡辺編集長代理の 10 名とする。
- ・尚、メンバーからの推薦があれば編集会議に出席できる。
- ・販売は平成 22 年度登録会員を対象とする。価格は 1 冊 1,000 円と決定する。
- ・協会会長さんには「10 年後の全日本サーフをビジョンする」をテーマに 7 月末を締め切りとして

依頼する。尚、原稿提出時に顔写真も付けてほしい。

- ・表紙デザインは 30 年、40 年の記念誌はシンプルであったので、今回は編集メンバーが釣り場風景などの写真を持ち寄り、厳選して決定したい。
- ・内容については歴史や大物記録（スーパーランク）、SC 記録、今までの周年祝賀会から思い出深いものなどを選び出し掲載したい。また、過去 5 年間のキス・カレイに絞った大物なども企画している。
- ・尚、各企画について原稿の依頼は協会長さんを通じておこないます。したがって協会長さんにはお手数ですが、該当者に依頼すると同時に期日の厳守などにもご協力願います。
- ・発行は 45 周年の祝賀会模様を掲載するので、4 月頃におこないたい。
- ・今後も編集会議については毎月の連盟会議日を利用しておこなうが、進捗状況によっては 10 月頃から月 2 回の開催になることもある。

#### ●旧コーチ制度の復活

- ・制度の復活趣旨は旧来のものに止まらず人格的にも優れた方を厳選し、各地区の協会や教育機関などに講師役として派遣したい。また組織の知名度向上役も担っていただき、会員拡充に役立っていただけるような人物を就任いただきたい。しかし、技量的なものはある程度は本部で把握可能だが、一番重要な人格面は協会からの推薦に頼るものが大きいと思う。
- ・前島協会長からも、釣りや SC の技量に長けた人よりも各分野に長けた人物を選ぶべきではないかと意見がでた。
- ・前島協会長の提言には連盟会長も同意する。いずれにしても即断して決定できる事案ではないので、充分審議を尽くしてからのことになると述べられた。

#### ●全日本キス・ラッキー賞抽選

- ・賞品 51 点の一覧表が配布された。PT 提出の審査票から、予め本賞 40 位と他魚 10 位までの審査票は抜いた上で、本賞・他魚とも一つの抽選箱に入れ、本会の出席者全員で引いた審査票を当選者とし、一覧表の上から順に賞品を進呈した。
- ・賞品のお渡しは、当選者の協会長が本会に出席していた分についてはその場でお渡しした。欠席の場合は（当選者 5 名該当）全て当選者まで、送付した。

### 第 2 号議案 全日本キス釣り大会の報告・表彰（藤原協会長）

会議に先立ち行った。今大会より抽選によるラッキー賞が新たに追加され、該当者に配布した。

### 第 3 号議案 クラブ対抗キス大会について（池田副会長）

7 月 12 日（日）京丹後市において、89 チーム・258 名の参加で開催された。前日からの準備に続き当日の表彰まで、大阪協会の皆さんの協力により大きな混乱もなく無事終了いたしました。同重量の場合について順位をどうするかを決めて無かったことが今後の課題であると報告があった。

### 第 4 号議案 大阪協会クラブ混合キス釣り大会について（事務局）

8 月 30 日に開催の「協会クラブ混合キス釣り大会」参加の受付を本日行い、17 クラブ 63 名の参加があったとの報告があった。

### 第 5 号議案 大阪協会夏季 SC 通信大会について（小山 SC 事務局長）

9 月 27 日に淡路島・生穂新島にて夏季通信大会を開催。大会案内については、8 月理事会で配布し申込は 9 月理事会にて行う旨報告があった。キャスティング研究会が 7 月 8 日に行われ、現在「シマノ」でラバーの錘を使った大会が開催されているが、来年度から連盟として試験的に各協会でも開催してみようとの案が出ています、実際に連盟が認定するのは再来年度から連盟の行事になることとなります、各協会でも競技場所の確保が難しくなっており、ラバーの大会であれば 100 坪程度の場所で開催することが可能であるため、大阪協会としても来年度からラバー錘での開催を考えるとの報告があった。

その他

- 沢田広報部長より、協会のホームページに、事故防止の資料として「離岸流」についての啓蒙動画を掲載するので、見てほしい旨連絡があった。
- 太田事故防止委員長より、前回各クラブに対して今年度の事故防止講習会報告を 10 月 30 日までに提出して下さいと依頼したが、終了されたクラブは、日時、講習内容、写真を添えて提出してほしい旨依頼があった。

19 時 35 分閉会